

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	地域コミュニティ協議会における活動状況・人員体制・財政状況などの自己目標達成度(政策1) 職業を理由とした県外との転出入数(政策11) 日頃から災害に対する備えをしている市民の割合(政策13) 市域から排出される温室効果ガス削減量(政策16)	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (準部・課・機関名)	地域総務課	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	少子高齢化など人口減少が進行する状況において、区内の各コミュニティ協議会による未来ビジョンを策定することにより、地域の課題解決への道標となるよう、作成プロセスでの地域住民の人材発掘・育成を行い、各コミュニティ協議会における「繋がり(ネットワーク)」再構築を支援します	政策1-1-①	ワークショップ着手数(コミ協数)	11	11	地域コミュニティ協議会の未来ビジョン策定支援	・各コミ協(全11コミ協)単位のワークショップ開催を支援 ・各コミ協で策定した未来ビジョンを取りまとめて区の内外に発信	○ ・7月から12月までの間、区内11コミ協で3回のワークショップを開催し、アクションプランを策定 ・令和6年2月4日(日)秋葉区文化会館で未来ビジョン全体発表会を開催	各コミュニティ協議会が作成した地域の未来像(アクションプラン)の実現のため、自治協提案事業【きらめき未来プロジェクト】で未来ビジョン部門を設け、各コミ協の取り組みへ支援する
2	「アキハスムプロジェクト」の理念のもとで、秋葉区の特性や魅力をブランド化し、戦略的に発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図ります。移住モデル地区による移住促進に向けた取り組みを支援するとともに、市民活動に取り組む新たな人財を発掘・育成することで、地域や住民とともに魅力あるまちづくりを進めます。	政策11-1-③	移住相談窓口での相談件数	65件	21件	アキハスムプロジェクト Vol.3	・移住、定住促進に向けた相談窓口開設 ・移住に関する相談対応のためコンシェルジュを設置し、移住・定住の推進を強化	△ ・7月29日、「八畳二間」に移住相談窓口を開設し、移住コンシェルジュ2名を配置した。 ・3月末までに21件の相談あり ・移住相談以外に視察見学等対応 ・12月にコンシェルジュPRチラシを作成し、区内全戸配布	・SNS等により移住者目線での区の魅力や暮らしやすさを発信し、移住したいひとへアプローチをはかる ・移住後の不安や相談できる交流の場をつくり、移住者のフォローをはかる
		政策11-1-①	コンシェルジュの人的ネットワーク構築と会議開催	9回	10回		・移住相談窓口を市特設webサイトやSNSにより情報発信 ・ネットワーク構築により相談者への対応を強化	○ ・移住相談窓口開設を市HP等で情報発信 ・市(新潟暮らし推進課・住環境政策課)等と情報交換を行いネットワークの構築をはかる ・11月に移住定住ネットワーク会議の開催	・区内・区外の移住に関する団体とネットワークの構築をはかり、相談者への対応を強化する
3	「安心安全なまちづくり」を推進するため、土砂災害発生時に備えた対応の強化に取り組みます。	政策13-1-③	防災行政無線設置基数	3ヶ所	3ヶ所	土砂災害地域防災行政無線整備	土砂災害が想定される地域において、避難情報を発信し、市民が迅速に避難できるように、防災行政無線を整備します。	○ 小口・草水・秋葉の3ヶ所に防災行政無線の設置工事了。(R6.3.26)	土砂災害により危険が及ぶと思われる地域への無線設置は終了したので、今後は適切な運用を進めていく。
		政策13-1-③	区災害対策本部事務局の災害対応訓練の実施回数	1回	1回	区災害対策本部事務局の災害対応訓練	・土砂災害に係る避難情報の発令を想定した区災害対策本部事務局の災害対応訓練を実施することにより、実効性のある体制づくりに努めます。	○ 11月9日に午前・午後2回、大雨による土砂災害を想定した災害対応訓練を実施。	訓練により得た知識をもとに、今後の災害に備えた体制づくりの強化につなげる。
4	エネルギーの効率的な利用の推進による環境にやさしくて安心・安全なまちづくりを進めるため、地域特性を生かした再生可能エネルギーの利用を促進し、脱炭素社会の実現と効率的なエネルギー利用を推進します。	政策16-1-①	関係部署間の連携を図る検討会や勉強会、「秋葉区みらい会議」への出席	6回	8回	再生可能エネルギーの利用促進と地域単位でエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築を検討	官民協働による再生可能エネルギーの利用の促進と地域単位で自家発電や蓄電を含む効率的なエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築について検討します。	○ 秋葉区みらい会議(R5.11.29開催)に1回参加、その他関係課、関係者との打ち合わせ等に7回参加。	引き続き、官民協働による再生可能エネルギーの利用の促進と地域で効率的なエネルギー利用の最適化を図るシステムの構築について検討する。
5	適正な事務の執行を確保するため、内部統制制度による事務ミスや不正の発生防止に努めます。	行財1-1-①	課内研修開催件数(回)	2回	2回	事務ミス等の発生防止に向けた課内研修の開催	職員研修などにより、内部統制制度に基づいた事務ミスの事例(他の所属のミスを含む)を共有します。	○ 研修を2回実施した。	引き続き、内部統制制度の活用などにより、適正な事務の執行に努めていく。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	組織名 (準部・課・機関名)	区民生活課	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区					評価日	R6.3.31

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	親切丁寧で分かりやすい窓口対応、総合的な案内を実践するため、職員のスキルアップを目指します。		各係業務についての課内研修の実施  研修後の確認テスト	平均8.5点以上	平均9.61点	課内研修の実施	職員の一人ひとりのスキルアップを図ることで窓口サービスにおける市民満足度の向上を図ります。	○	制度や根拠法令等を受講し職員ひとり一人のスキルアップの向上に努めました。 課内研修12回、参加者数202人(延べ)が参加。研修後の確認テストの平均点は9.61点、目標を成しました。	研修内容を充実させ窓口対応能力の向上に努めます。
2	区役所の窓口サービスにおける市民満足度の一層の向上を図ります。	行政1-1-①	窓口アンケートの実施  窓口アンケートの平均点(点)	平均4.5点以上	平均4.5点	窓口アンケートの実施	アンケート実施し、窓口サービスにおけるニーズを把握し、市民満足度を向上に努めます。	○	窓口アンケートの平均点は4.5点となり、目標は達成した。 設問の内、職員の説明については4.7点となり、7つの設問の中で最も高い点数となりました。	窓口アンケート結果から庁舎の案内表示が目標数値以下であったため、案内表示の改善について、区のプロジェクトチームと共に検討してまいります。
3	日常業務の改善を進めるとともに、効率的な業務を行うため、職員提案を促し改善を実施します。		改善項目の抽出、改善の実施	見直し・改善20件 (各係5件)	見直し・改善35件	日常業務改善・実施	窓口アンケート等により、市民ニーズを把握し窓口の改善に取り組みます。	○	4つの係から35件の改善行い、窓口サービスの向上と業務の効率化を図りました。	市民満足度の向上に向け、引き続き、市民視点での改善や業務の効率化に取り組んでいきます。
4	ゴミの無いきれいな生活環境の保持に努めます。		パトロールの実施	12回以上	12回	きれいな生活環境の保持	不法投棄防止に向け、重点監視地点のパトロールを定期的に実施し、ゴミの無いきれいな生活環境の保持に努めます。	○	月1回、年12回の重点監視地区のパトロールを実施しました。また、不法投棄の回収を行い、きれいな生活環境の保持に務めました。	継続してパトロールの実績について記録表に残し、ゴミの無いきれいな生活環境の保全につなげていきます。
5	国民健康保険料の収納率を向上させます。		国民健康保険料ペイジー口座振替受付サービス申込件数	申込件数638件以上 (過去5年の実績平均:638件)	申込件数867件	口座振替の利用促進	国民健康保険制度の運営基盤となる保険料の収入向上に向けてペイジー口座振替受付サービスの活用による口座振替の推進に努めます。	○	国民健康保険新規加入手続きの際に、お客様に分かりやすいようにパンフレットをご覧いただきながら口座振替受付サービスペイジーを紹介。また、国保料の試算時にも口座振替の事前案内を行ったことにより867件利用いただけた。	ペイジー口座振替受付サービスの推進します。引き続き窓口において分かりやすい説明に取り組んでいきます。

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	組織名 (準部・課・機関名)	小須戸出張所	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	・市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 ・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区					評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	総合計画(実施計画)上の位置づけ	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
			取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)	概要			
1	市民の信頼と期待に応えられるよう、職員の市民対応の質を向上させ、市民の視点を大切にしたい信頼される市政を推進していきます。	行政1-1-①	・職場内研修 ・専門研修	・職場内研修の開催6回 ・専門研修参加延べ人数10人以上	・職場内研修6回実施 ・専門研修参加延べ人数18人	・窓口での対応力向上に向けた職場内研修 ・スキルアップのための専門研修への参加	窓口での実例を基にした研修を座学形式で取組み、制度のより深い理解と対応力の涵養を図ります。 また、区民生活課や本庁が実施する専門研修に参加します。	○	職員が講師となり新住基システムへの習熟を高める研修を行い、また、区民生活課が開催する研修会に参加しました。	信頼される出張所を目指し、日頃から職員の資質を高める取り組みを欠かさないことが大切と考えます。 このことから、研修の方法や内容について工夫しながら継続して取り組みます。
2	自主防災組織による防災訓練の実施など、幅広い世代が参加する地域防災活動を支援します。	政策13-1-①	・事前準備等検討会参加 ・小中学校参加の有無	・検討会参加回数 ・小中学校が参加	・事前と事後を合わせ全5回の検討会に参加 ・地域内にある2小学校、1中学校が参加	小須戸コミ協、山の手コミ協の防(減)災避難訓練実施に係る全般的な活動の支援 実施日11月11日(土)	災害発生避難の訓練内容や、小中学校の訓練参加の調整など、両コミ協の検討会に参加し、円滑な実施に向けての支援を行います。	○	検討会や訓練当日への参加を通し、地域の支援を行うことができました。 訓練には域内の全児童生徒と自治会等が参加し、防災意識の醸成に寄与できました。	旧小須戸地区にある二つのコミ協が同日訓練に取り組んで2年になります。両コミ協が相互補完し、災害に強い地域になるよう、さらに訓練を重ねていきます。

組織目標管理シート

年度	令和5年度			(参考) 関連する総合計画に おける政策目標	・住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができると思う高齢者の割合 ・障がい者理由として差別・暮らしにくさを感じたり、いやな思いをしたことがない障がい者の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・健康寿命(日常生活に制限のない期間の平均)	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区役所	組織名 (本部・課・機関名)	健康福祉課			評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組みます。	政策7-1-②	認知症に関する普及啓発活動実施回数(回)	10回	10回 (講演会)60人参加	・認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進 ・認知症に関する知識の普及・啓発	○	・認知症への理解を深めるため、区だより、FMIについて、ポスター等掲示による啓発活動を行い、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりに努めます。 ・認知症に関する普及啓発活動として、区だより掲載2回、FMIについて9回、ポスター掲示、公用車へのマグネットシート貼付各1回実施。 ・3月2日認知症講演会を実施し、60人が参加した。	・引き続き、各種媒体を利用し、普及啓発活動を行っていく。	
2	「秋葉区地域福祉計画・地域福祉活動計画」の理念を広く区民に周知・普及しながら、地域住民や関係機関と連携・協力して健康づくりや福祉課題を解決する取り組みを推進します。	政策7-2-①	障がい者理解講座参加者アンケートの理解度(%)	「とても理解が深まった」「理解が深まった」が80%以上	81.5% (理解講座)32人参加 (支援講座)5人参加	・障がい者理解講座 ・保護者支援講座	○	・障がいへの理解を深め、地域で支える仕組みづくりを考える機会とする ・療育教室などを利用している子どもの保護者を対象に、悩みや心配ごとを共有できる仲間づくりを推進することで、不安感や孤立感の解消を図る	・R6年度も精神障がい、発達障がい等をテーマに障がいへの理解を進めていく。	
	政策4-1-③ 政策4-3-① 政策4-3-②	子育てに関する講座等の開催回数	小さな森の広場75回 ハバママ銭湯24回 ダイケアルームHUGママ24回 育ちの森講座41回 合計 164回	合計 165回 合計1,563人参加	・子育てサロン ・産前産後プレッシュ事業 ・子育て講座	○	・地域で安心して子育てを行うための、ライフステージに応じた切れ目ない支援 ・上記に関する情報の発信(当該事業や育ちの森で開催する子育て講座の実施回数など)	・引き続き、予定通り各種事業を進める。		
	政策4-1-③ 政策4-3-① 政策4-3-②	子育てサポーターの訪問件数(件)	320件	280件	・子育てサポーター訪問事業	△	・産前と産後に各1回の訪問を実施し、地域の子育て情報の提供や絵本のプレゼントを行う。 ・目標値は母子手帳交付者の80%で、新規訪問件数。 ・前年度に産前訪問している場合等は、産後訪問を計上しない。	・子育てサポーターの訪問件数は、産前、産後合わせて280件実施した。 ・少子化の影響で令和5年度の母子手帳交付件数は393件に減少した。 ・軽厚や2人目の出産理由に訪問に同意しない方が増え、訪問希望者数も297件に減少(75.6%)した。	・訪問件数は減少したが、関係機関のフォローに繋がれたケースもあったため、引き続きサポーターによる産前産後の母子支援に努める。 ・母子手帳交付者(訪問対象者)が減少しており、目標値の見直しが必要。	
	政策4-1-③ 政策4-3-① 政策4-3-②	出張(妊娠・子育てほっとステーション)等子育て情報の発信件数(回)	育ちの森12回 たんたん・どんぐり・ほかほか 各1回 合計15回	合計 17回 合計124人参加	・子育て支援情報の発信	○	・保育コンシェルジュ等が、子育て支援センターなどへ出向き、入園や子育てについて相談に応じる	・育ちの森12回(103人参加)、子育て支援センターたんたん(4人参加)、どんぐり(7人参加)、ほかほか(3人参加)各1回の他、当初予定していなかった療育教室なのはなからの依頼が2回(7人参加)あり、計17回(124人参加)開催した。	・突発的な開催依頼にも対応することができた。 ・今後もアットリー子型で、ほっとステーションを積極的にPRしていく。	
2	政策7-1-①	フレイル予防事業の参加延べ人数(人)	1,000人	1,232人	・フレイル予防教室、及び講座の開催 ・地域のイベントでのフレイル予防啓発事業 ・運動普及のため住民サポーターへの研修開催	○	・子どもを含めたフレイル予防、生活習慣病予防の普及・啓発 (ロコモ予防の取り組み団体へ支援、小児生活習慣病予防健診後の講座の開催)	・参加人数延べ1,019人。子どもを含めたラジオ体操普及については昨年度からの継続に加え、新規5団体(新聞見聞クラブ・東部民協等)で実施。ラジオ体操100日達成者は185人。 ・10月26日に住民サポーターへの研修を実施。28人参加。	・引き続き、地域の茶の間や地域のイベントなど住民が集まる様々な機会や、ラジオ体操普及を含めたフレイル予防の啓発を行いながら事業を進める。 ・次年度についても地域の茶の間や各コミ協へ周知、連携していく。	
	政策6-1-①	事業参加者の生活習慣の重要性に対する理解度(%)	80%	93%	小学校6年生が対象 ・ジュニアドック(生活習慣病健診) ・からだづくり講座	○	・11日程(土曜含む)で実施したジュニアドック(生活習慣病健診)は89人が受診し、結果をすべて通知した。 ・からだづくり講座は、11月23日に開催し親子22組55人が受講した。 ・生活習慣に関するアンケートの結果では全項目で重要性に対する理解が8割を超えた。	・引き続き、複数日でのジュニアドックの開催と家族ぐるみで生活習慣の重要性を学ぶからだづくり講座を開催する。 ・また本事業の結果(課題)を小学校や小学生の保護者、他事業に参加する区民へ広く周知していく。		
3	窓口サービスにおける市民満足度のさらなる向上を目指します。	行財1-1-①	研修会実施回数(回)	7回	6回	課内研修の実施	○	・各係の業務からテーマを設けて研修会を実施	・7係(担当)のうち6係(うち、2係共同開催1回を含む)が1回ずつ実施した。	・今後も係を超えた横断的な連携強化のため、研修を継続していく。
4	継続的な業務改善を実施し、効率的・効果的な市民サービスを行います。	行財1-2-①	改善実践報告の件数(件)	21回	15回	業務改善の実施	△	・21回中15回(71.4%)実施にとどまった。 ・課内での横展開もされつつある状況。	・今後もより良い改善案があれば積極的に導入していくが、組織目標としては終了。	

組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画における政策指標	・観光入込客数 ・農業産出額推計値 ・新潟市の農水産物などに対して誇りや愛着を持つ市民の割合 ・地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	産業振興課	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)			
1	地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。		参加者アンケートにおける里山施設等への再訪意向(%)	50%以上	50.4%	・わくわく石油楽習事業	・石油の世界館友の会と連携し、里山にある石油資源を活用した小学校6年生向けの講座の実施 ・里山文化(自然、施設、歴史など)に関する事前学習の実施 ・通常の学校事業に即したテーマ(地層)を学習内容に加え、より地域を身近に感じてもらう ・講師と連携し、子ども向け教材の新規作成を検討	・事前学習も含め区内小学校5校から6年生269人が参加 ・今年度初めての試みとして、各小学校に事前学習を行った	・後期の事業実施及びアンケートの集計内容を基に、次年度事業への反映を図る ※再訪意向結果の「どちらともいえない」42.9%の取り込みを図る
		政策5-1-②	Akihaマウンテンプレーパークの1日平均利用者数(人)	50人	35.1人	・里山未来創造事業	・里山にある秋葉公園の自然を活かした、子ども達が自由に遊べる場「Akihaマウンテンプレーパーク」の開設 ・SNS等を活用した子育て世代への発信力の強化 ・遊びの内容(手法や遊具)の充実	・36回開催、子どもは1,265人が利用(※大人931人) ・区だより、PRチラシを区内全小学生に配布等広報を強化 ・前期は熱中症警戒アラート発表により、利用者が減少 ・後期は悪天候の日が重なり(12回/18回が雨天又は曇り)利用者数が低下 ・SL再運行に向け、SLや列車のラッピングポストによる機運の醸成 ・鉄ぶら抽選会との連携 ・レンタサイクルの運営 ・にいつ鉄道商店街と連携し、大宮でのイベント参加によるPR ・イベント限定のショップカードによる認知度の向上及び利用促進	・SNS等の発信を強化し、利用者増加を図る ・利用者増加の底上げを目指し、遊び内容の充実を検討する
		政策10-1-②	観光案内所「あ！キハ」1日平均利用者数(人)	60人	65.19人	・アキハ「鉄道物語」	・JRや商店街連合会、観光協会、鉄道資料館と連携した新津駅東口における観光案内所の開設 ・レンタサイクルの貸し出し ・鉄道資料館による開館40周年記念特別展との連携 ・鉄道に関連した取り組みや事業への支援	△	・SL25周年をはじめ連携事業の継続による、認知度向上と利用者拡大に向けた取り組みを図る
		政策9-1-⑤	日本ポケ展への来場者数(人)	6,500人	5,050人	・園芸推進事業	・日本ポケ展の開催支援 ・他団体による企画展との同時開催	・新聞掲載やポスター配布箇所を増やす等の周知(道の駅42か所へ配布) ・日本ポケ協会との連携により実施 ・小須戸ひな・町屋めぐり、秋葉区ひな・お宝めぐりと連携 ・開催期間中の悪天と寒気により来場者が伸びなかった	・花き関連事業、区内開催事業との連携によるPR強化を図る ・SNS等の発信を強化し、利用者増加を図る
2	緑豊かな里山や河川などの恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐべき貴重な財産と捉え、人と自然が調和した美しい景観の保全と活用を図ります。		廃止石油坑井封鎖事業	調査・検討	同左	・廃止石油坑井封鎖事業	有識者による会議を立ち上げ、石油井戸の封鎖に向けた調査や工事方法などを検討し、事前調査と関連工事を実施	・有識者会議を開催し、石油井戸の封鎖に向けた調査方法などを確認 ・工事積算等、事業実施に係る準備行為を進めた	・調査実施後、有識者会議を開催し、封鎖の有無の判断及び次年度の工事方法などを検討する
3	「もち麦」を核に、農業・福祉・健康づくりの各分野で様々な取組を展開します。	政策9-1-⑤	「秋葉の里 白雪もち麦」販売促進事業数	13事業	13事業	・アキハもち麦推進事業Vol.2	イベントへの出展や小学校への総合学習など販売促進、広報宣伝事業の実施	・フードメッセやイベントへの出展(店)、小学校総合学習等13事業を実施し販売促進、広報宣伝に努めた	・今後もフードメッセへの出展等各種事業を実施し、販売促進、広報宣伝を図る
4	新潟薬科大学等との連携により互いの資源や成果を共有するなど交流を深め、教育機関の英知を活かした施策展開や地域との連携につなげることで、質の高いまちづくりを進めます。	行財3-2-③	大学等との連携事業数	8事業	9事業	・新潟薬科大学等との連携事業	新潟薬科大学等の教員、学生との連携による事業の実施	新潟薬科大学等の教員、学生との連携による5事業の実施 ・朝日の森の会活動(6.7月) ・第一小ハイキング、文化祭 ・新津本町アーケード清掃 ・朝日の森づくり体験 ・里山整備(市民共同)	・今後も新潟薬科大学をはじめ関係者と連携し、各種調整を行うことで事業の継続を図る

# 組織目標管理シート

年度	令和5年度	(参考) 関連する総合計画に おける政策指標	市民の声をしっかりと聴く体制が整っていると思う市民の割合 地域団体、民間事業者、学校など多様な主体との協働数	作成日	R5.4.1
組織名(部)	秋葉区	組織名 (準部・課・機関名)	建設課	評価日	R6.3.31

○:達成  
△:一部未達成  
×:未達成

No.	組織目標	指標			主な取組(事業)		評価	目標達成状況	今後の方針	
		総合計画(実施計画)上の位置づけ	取組指標	R5目標	R5結果	取組名称(事業名)				概要
1	市民からの苦情や要望等に対し、早期対応と適切な情報提供を行います。	行財1-1-①	通報等に対する24時間以内対応率(%) (途中経過説明を含む) 工事要望の進捗状況説明(回)	100 11	100 11	交通網の整備と持続可能な地域交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路や公園の異常箇所の修繕</li> <li>工事要望の対応方針説明</li> <li>除雪状況の情報提供</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急案件の24h対応率100%(1491/1491件) ※緊急性のないものを含めた対応件数1534件</li> <li>地区懇談会における進捗状況説明の実施(7~8月)</li> </ul>	引き続き、地域からの通報や相談には、状況を確認したうえで、最適な対応を迅速に行います。
2	新津川や能代川沿いの遊歩道のほか、秋葉公園内の環境整備を市民と協働で行います。 また、昭和公園再整備の方向性を地域団体と共に検討を行います。	行財3-2-②	参加人数(人) ワークショップの開催(回)	350 3	356 3	人と自然が調和した美しい景観の保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と協働で遊歩道周辺や秋葉公園の除草や刈払を実施</li> <li>昭和公園再整備の方向性を地域団体とのワークショップを開催します。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働事業実施 水仙百年物語 (11月3日)・・・参加者66名</li> <li>新津川クリーン作戦 (11月5日)・・・参加者290名</li> <li>秋葉公園クリーン作戦 (11月18日)・・・雨天中止</li> <li>昭和公園再編事業 WS支援業務委託の締結及び地域団体との協議(WSを3回開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民協働での環境整備活動により多くの方から参加いただき、持続的な活動とするためには、担い手となる子育て世代や学生・若者への周知・啓発が重要であり、関係団体と連携しながら多方面での広報・周知活動を進めます。</li> <li>ワークショップを通じて昭和公園再整備の方向性を議論し、子育て世代を含めた地域の皆さまから親しまれる公園整備を目指します。</li> </ul>
3	工事・委託の早期発注に努め、上半期発注率の向上を図ります。		上半期発注率(%) (発注件数/当初予定件数)	80	87	交通網の整備と持続可能な地域交通の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路や公園の維持及び整備工事の発注</li> <li>設計や管理業務委託の発注(維持係21件 まちづくりG40件)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事および委託発注状況維持係(21/21)+まちづくりG(32/40)=(53/61)86.9%</li> </ul>	引き続き、当初事業の速やかな発注に努め、上半期発注率の向上を図ります。
4	職員の資質向上や効率的な業務を遂行するため、各種研修などへ積極的に参加し情報共有を図ります。	行財1-4-①	3回以上の研修への参加人数(人) 課内研修の実施(回)	25 6	25 6		<ul style="list-style-type: none"> <li>専門分野の土木技術研修や市主催の職員研修などへの参加</li> <li>課内研修などで他の職員へフィードバックする</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>3回以上の研修参加者課内全員(会計年度職員除く)</li> <li>課内研修実施状況 第1回:8/24・25第2回:9/15 第3回:10/25 第4回:11/30第5回:1/17 第6回:3/15</li> </ul>	来年度も職員の資質向上や効率的な業務を遂行するため積極的に外部研修等に参加を促します。また課内研修等で職員へのフィードバックをするとともにプレゼンカルの向上を図ります。